

具体的な取組の柱								
事項	具体的取組	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
■住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組								
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進								
	・堤防整備等	R6 当初計画 S						江の川改修 大貫地区の築堤工事、潮尻・久谷谷地区の築堤・護岸工事、川越地区の護岸工事を実施
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備								
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	R6 当初計画 M						孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置・更新 危機管理型水位計1か所の不具合を解消
	・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	R6 当初計画 D.M					・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 ・府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始。(令和6年5月28日～)	構脚や護岸に受動色の水位表示板を更新・設置
		R7 3月末時点					大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。 ・府県単位での「線状降水帯による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始(令和6年5月28日～) ・府県/地方気象情報の文書構築(文書の構成順、項目の名称や書式、量的予想に係る表現等を全国で統一)の変更(令和6年6月13日～)	①指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日から継続) ②水位表示板の設計を実施、R7年度に現地設置予定
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等								
	・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	R6 当初計画 E.F.G.L 緊	想定最大規模降雨に基づく避難計画見直しの検討を行う	避難場所及び避難経路の見直し	デジタルハザードマップの導入によるデータの更新と必要に応じた見直し	避難計画の見直しについて説明会の実施		
		R7 3月末時点	桜江地区における地区防災計画作成が完了した。江津地区にも地区防災計画のひな形を送るなど作成を促した。	避難場所及び避難経路の見直し	デジタルハザードマップのデータはその都度更新	未実施		
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し	R6 当初計画 C.E.F.G	避難指示等の発令範囲の検討を行う	過去の水害時の時系列水位等データを検証	過去の水害時の時系列水位等データを検証	対象地域に漏れがない運用の実施		
		R7 3月末時点	検討の結果、現行の範囲で変更なし	過去の水害時の時系列水位等データを検証	検証の結果、変更なし	実施済み		
	・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供	R6 当初計画 J	避難確保計画の改訂や計画に基づく訓練等の支援を行う	訓練実施の支援	策定された避難確保計画の適切な更新のための支援及び計画に基づく訓練等の支援(共催を含む)	要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援	避難確保計画等の作成及び、訓練等の支援	・江津市内の定住外国人・日本語学校の生徒等を対象とした講習会を実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成・訓練実施における情報提供の支援
		R7 3月末時点	計画に基づく訓練の支援を行った。新たに浸水想定区域に入った施設に対し、計画の作成支援を行った。	計画更新作業のサポートを実施	想定区域内の対象施設においては、計画策定済みで、今後は訓練に係る支援等を行う	実施済み		・大田市介護サービス事業者協議会からの依頼を受け、2024/10/16にケアマネージャーを対象に出前講座を実施 ・2025/2/16に益田市在住の外国人を対象に出前講座を実施
	・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	R6 当初計画 K	避難誘導体制の検討を実施予定	発令基準を検討	過去の水害時の時系列水位等データを考慮して検討	自主防災組織と避難誘導体制の継続協議(協議を踏まえ避難訓練を実施予定)		
		R7 3月末時点	地区防災計画作成の過程で一部協議を行った	発令基準を検討	継続して協議中	避難訓練未実施		
	・江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	R6 当初計画 F.H	商工会議所等と協議	商工会等と協議	研修会・訓練の共催及び支援	商工会事務局との協議、訓練支援	要請に応じて参加・支援	各種講習会・訓練等の開催に協力し、支援を行う
		R7 3月末時点	未実施	商工会等と協議	未実施	BOPについて継続協議	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配布やまちごとハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	R6 当初計画 A.E.F.G.L	表示板等の維持を行う	現地表示実施の検討	浸水想定区域の変更に伴うデジタルハザードマップの更新、浸水想定、避難経路の安全性を考慮した避難方法の検討、広域避難の具体的な調整	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、ハザードマップを作成し、事業所へ配布		
		R7 3月末時点	海拔表示板や避難所看板などの維持を行った	現地表示実施の検討	検討の結果、変更なし	ハザードマップを更新し、HPへ掲載		
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成								
	・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	R6 当初計画 B	他機関・住民等と連携したタイムライン改正の検討を行う	随時見直し	他機関と連携し、必要に応じた見直しと運用に努める	水害タイムライン策定にあたり、協議会の一員として運用見直しに協力する	運用および実洪水等による見直しに協力する	水害対応タイムラインの確認・調整(水害対応タイムラインにおいて、依頼に基づき防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)
		R7 3月末時点	未実施	随時見直し	減災協により適宜実施	見直しを実施	運用および実洪水等による見直しに協力	タイムライン見直しへの助言
■情報伝達、避難計画等に関する事項								
	・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	R6 当初計画 緊	ホットラインの確認を行う	随時実施	ホットラインの確認と活用	洪水時における河川管理者からの情報提供等を構築	(八戸川)県管理河川のタイムラインを活用して情報提供	指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表
		R7 3月末時点	ホットラインの確認を行った	随時実施	都度確認	ホットラインを確認	八戸ダム及び県管理河川における情報提供を実施	指定河川洪水予報発表等におけるホットライン実施
	・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	R6 当初計画 緊	ダム放流情報を活用した避難体系の検討を行う	関係機関等と協議	施設管理者等の出す情報の確認と活用を検討	ダム放流情報を活用した避難体系の確立に協力する	—	治水協定に基づく事前放流の連絡体制等の整備等
		R7 3月末時点	未実施(ダム関係機関との情報共有や連絡などは行っている)	関係機関等と協議	都度検討	協力の実施	—	特になし
■防災教育や防災知識の普及								
	・江の川(下流)における浸水イメージ動画の作成・公開	R6 当初計画 A.B.F						引き続き実施 江の川からの越水及び堤内地の浸水がイメージできる動画を作成
	・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	R6 当初計画 H.J.R 緊	広報誌等で活用方法を周知する	町民への周知	HP、SNS、広報誌等による住民への周知を実施	町広報などで有効活用の周知を実施予定(住民対象)	島根県水防情報システムや、島根防災メールによる河川情報の発信	出前講座等、及び気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する。 また、webによる市町村支援として、「気象防災ワークショップ」の開催や、「あなたの町の予報官TV」の動画配信を継続して実施する。 (令和6年6月26日～7月30日) 島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(水害対策編)」を、web会議により計5回開催し、地域防災力の向上を支援した。 島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説。また、早期注意情報で[中]又は[高]が発表された際は、随時に配信した。
		R7 3月末時点	出前講座や広報誌等で周知	町民への周知	広報誌等により周知	町アプリ等で周知	水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信	①江の川より第23号において、マイタイムラインや川の防災情報の周知(QRコードの活用) ②Xを活用した防災情報等の発信

具体的な取組の柱		事項						
具体的取組		江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
・小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	R6 当初計画	出前講座等で水害(防災)教育を行う	小中学校で実施	防災教育の実施・充実に向けた教育委員会との協働により学習会を開催	各小中学校で防災学習会を実施	要請に応じて参加・支援	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う	江の川(下流)流域の小中学校を対象に防災教育を実施
	R7 3月末時点	実施	中学校で、防災授業を実施	邑智中学校では授業時間に、大和小学校(1/24予定)では参観日に実施	町内中学校の職場体験時や、出前講座で防災学習を実施	桜江中学校、日貫小学校及び中央高校において出前講座を実施	協力依頼・要請がなく、未実施	①防災出前講座を実施(9/18 郷田小学校) ②水生生物調査でマイ・タイムライン等に関する資料を配布(9/5 口羽小、9/6 郷田小、9/3 大和中、9/4 川本中、9/19 桜江中、10/9 邑智中)
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	R6 当初計画	出前講座や避難訓練でツールを活用する	5月26日、6月2日9日訓練実施	防災意識を高める効果的な研修会、学習会の開催、河川管理者等と協働した説明会・訓練の開催	防災訓練や出前講座などで動画を活用する。また各地域で説明会を開催する	住民に対して、広報誌などで施設機能について情報提供	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う	・出前講座等において住民への説明を実施 ・「江の川だより」による広報
	R7 3月末時点	ツールを活用した防災教育を実施	6月第1日曜日、第2日曜日に全町希望自治会を対象とした、避難訓練を実施	防災専門の有識者を講師に、防災士や住民を対象として実施	町内自治会等で出前講座を随時実施	石見養護学校職員に対して出前講座を実施	依頼があれば随時対応	①みすみフェスティバル2024にて、昭和58年7月豪雨に関するパネル展示を実施(11/9) ②江津市12地区の住民を対象に防災出前講座を実施(12/15) ③江の川だより(第22号～第26号)を発刊
・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	R6 当初計画	(配信)	(配信)	(配信)	(配信しない)			プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進 ※令和5年度までに全小中学校、自治会において、マイ・タイムラインの作成支援を実施	R6 当初計画	マイ・タイムラインの作成について検討を行う	研修会実施・作成支援	自主防災組織単位での学習会にマイ・タイムライン作成の取り組みを推進、関係機関と連携し講師等の手配を行う	自主防災組織、防災士と協力しマイ・タイムラインを作成する	要請に応じて参加・支援		江の川(下流)流域の自治体等を対象にマイ・タイムライン講習会を実施
	R7 3月末時点	住民対象のマイ・タイムライン研修を行った	まちづくり意見交換会や、自治会長会議でマイ・タイムラインを説明。個別自主防災組織でも実施。	地区防災計画の作成に合わせ、町内2地区(浜原・長瀬)で実施中。今後も未作成地区において実施	未実施	考える県政によりマイ・タイムラインの周知を実施(令和6年6月15日)		①江津市12地区の住民を対象にマイ・タイムライン講習会を実施(12/15) ②マイ・タイムライン講習会の実施を希望する住民を募集するためのチラシを作成。当事務所Webサイトへ掲載し周知を実施

■減災・防災に関する国の支援

・適切な土地利用の促進	R6 当初計画							災害危険区域を適切に指定促進するため、引き続き、水害リスク情報の提供を実施
	R7 3月末時点							引き続き、情報提供を実施
・地域防災力の向上のための人材育成	R6 当初計画							地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援
	R7 3月末時点							支援要請はなく、未実施
・水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	R6 当初計画							必要に応じて実施
	R7 3月末時点							該当無しのため未実施
・代行制度による都道府県に対する技術支援	R6 当初計画							必要に応じて実施
	R7 3月末時点							該当無しのため未実施
・災害時及び災害復旧に対する支援	R6 当初計画							必要に応じて実施
	R7 3月末時点							該当無しのため未実施
・災害情報の地方公共団体との共有体制強化	R6 当初計画							必要に応じて実施
	R7 3月末時点							ホットラインでの伝達事項について、流域自治体と協議・調整を実施

②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備

・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	R6 当初計画							孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置・更新
	R7 3月末時点							危機管理型水位計1か所の不具合を解消
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	R6 当初計画							橋脚や護岸に受動色の水位表示板を更新・設置
	R7 3月末時点							①指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日から継続) ②水位表示板の設計を実施、R7年度に現地設置予定
・樋門の無動力化の推進	R6 当初計画							樋門無動力化の実施予定
	R7 3月末時点							久座仁排水樋門の無動力化を実施(R6年度完了)

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	R6 当初計画	水防団員の連絡体制の再確認を行う	消防団により随時実施	水防団活動の情報伝達体制の再構築と、各地域ごとの水防訓練を実施	消防団各分団により随時実施			
	R7 3月末時点	連絡体制の確認を行った	消防団により随時実施	都度、情報伝達(発信)を実施	消防団で随時実施			
・江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	R6 当初計画	水防団員による点検を実施	消防団により随時実施	合同点検の実施に向け、消防団員や地域住民の参加を促す。	消防団員により随時実施			合同点検等を実施
	R7 3月末時点	水防団員により実施	浜田河川国道事務所と実施	消防(水防)団が単独で実施	消防団で随時実施			江津市、川本町と合同で重要水防箇所の現地確認を実施(6/10) 美郷町、邑南町と合同で重要水防箇所の現地確認を実施(6/12)
・水防活動の知識習得と技術向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	R6 当初計画	水防団員に排水ポンプ等の実技指導を行う	各分団の訓練で実施	実施に向け関係機関と協議し、技能向上を図る	各消防団の訓練に併せて実施予定	要請に応じて参加・支援	各種講習会に参加する。また、開催に協力し、支援を行う	国交省職員を講師とした講習会を実施
	R7 3月末時点	水防団員が排水ポンプ等の操作訓練を行った	各分団の訓練で実施	未実施	11月に実施	要請がなく未実施	協力依頼・要請がなく、未実施	国交省職員と防災エキスパートの共同で、梅雨時期前(4/17)に堤防点検を実施
・備蓄水防資材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	R6 当初計画	重要水防箇所の点検等と併せて資材使用方法の確認を行う	水防計画による確認	水防計画による情報共有と確認を行う	邑南町水防計画をもとに、情報共有を図る	出水期前に関係機関と調整会議などによる情報共有や資材の合同点検を実施		備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認
	R7 3月末時点	確認を実施	水防計画による確認	情報共有を実施	情報共有を実施	水防計画による情報共有を実施		①水防連絡会、洪水予報連絡会、災害情報協議会を開催 ②川本町川本(谷地内)において、仮締切堤防の設置訓練を実施
・市町村舎の水害時における対応について業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	R6 当初計画	新庁舎版業務継続計画に改訂を行う	必要に応じて業務継続計画を見直す。	—	必要に応じて業務継続計画を見直す			
	R7 3月末時点	改訂作業中	必要に応じて業務継続計画を見直す	—	未実施			
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	R6 当初計画	樋門操作員研修会を出水期前までに実施	樋門等操作員研修で実施	関係機関と連携し適正な研修会・訓練の実施を行う	操作担当職員、消防団により6月までに実施予定	要請に応じて参加・支援		樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
	R7 3月末時点	樋門操作員研修会を実施した	樋門等操作員研修で実施	説明会を5月に実施し、訓練は必要に応じて実施	8月に実施	要請がなく未実施		各市町と樋門操作に関する委託契約を締結、樋門操作説明会を、5/9 川本町・美郷町、5/16 江津市にて実施

具体的な取組の柱								
事項	具体的取組	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策								
■ 排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施								
排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	R6 当初計画	—	未定	排水作業準備計画に基づいた排水訓練の実施	排水作業準備計画に基づく排水訓練を実施する	排水ポンプ車による排水訓練の実施		排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
	R7 3月末時点	—	未定	必要に応じて実施	消防団による訓練を実施	排水ポンプ車による排水訓練を実施		国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車・照明車の合同操作訓練を実施(江津市長田、川本町因原)
排水設備の耐水性の強化	R6 当初計画	—	内水排除施設の拡張(因原)	排水施設の耐水性の確認と、対処方法の検討	必要に応じて排水設備の耐水性の強化する	—		実施予定なし
	R7 3月末時点	—	内水排除施設の拡張中(因原)	排水施設・設備の点検を実施	点検を実施	—		—
新たな取組								
■ 報道機関との連携								
報道機関との懇談会をwebにて開催	R6 当初計画							報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する
	R7 3月末時点							「報道機関との懇談会」の第8回を7月、第9回を令和7年2月に実施・島根県CATV協議会と防災番組を3回制作した。次回3月に制作・放送を予定している
■ 追加確認事項								
質問内容	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省	
ケアマネジャーに対する支援状況、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示状況について教えてください。	ケアマネに対する支援なし ハザードマップの掲示なし	要配慮者利用施設へ配布	個別避難計画の策定支援に向けたケアマネジャーの活用及び支援については共に研修会へ参加。 地域包括支援センターは役場庁舎内にあり、役場職員で構成されていますので、ハザードマップの情報共有はされています	邑南町役場医療福祉政策課内に、地域包括支援センターがあるため情報共有等実施できている				